

6. 教育の質の向上に係る取組

その他、本学の教職課程の取り組みとして、次のような特徴がある。

1) 市立高崎経済大学附属高等学校との連携

市立高崎経済大学附属高等学校（以下「附属高校」）とは、長年、様々な形で高大連携の実績を積み重ねてきた。その中の一つに、「教員志望学生の学校現場体験事業」がある。これは、附属高校が教員を目指す本学の主に1～3年の学生を対象に行っている事業であり、附属高校の教員による授業の見学、管理職教員による教科指導方法や学校経営に関するレクチャー及びディスカッションを行うことにより、教育現場の理解を早期に得る機会を設けている。その他、附属高校は、本学の教職に関する科目の授業等にも協力を依頼し、日常的な連携を図っている。

2) 学校ボランティア

学生に近隣自治体の小中学校へのボランティアを奨励している。あくまで自主的に自律的に活動することが基本であるが、その窓口を大学が用意し、またその心得をレクチャーすることによって、数多くの子どもたちとの触れ合いの機会を提供している。

3) あらゆる資質・能力を高めるワークショップ

教員には、教科や学校に関する知識だけでなく、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力など様々な能力が必要とされる。そこで、教職希望者に、「インプロ」を活用した資質・能力の向上プログラムを、外部講師を招聘しながら実施している。コミュニケーション能力やリーダーシップ能力を実践的に高めることで、教員としての基礎を磨く。